

# 大蔵中だより

13号(令和6年3月4日)

北九州市立大蔵中学校長 古閑 明子



## 校訓

**自律** 自ら考えて判断し、責任をもって行動しよう

**創造** 自分の力を信じ、新しいものを生み出そう

**奉仕** 勤労を喜び、社会のために役立つ人になろう

## ◆惜別式 ～1・2年生が3年生への「感謝の気持ち」を伝えました～

3月1日(金)5・6校時に、惜別式を実施しました。生徒会執行部の皆さんの運営により、《1年生・2年生・転出された先生からのビデオメッセージ》《1・2年生からの記念品贈呈》《1・2年生、3年生の合唱演奏》《全校生徒による校歌斉唱》などのプログラムが、終始、温かい雰囲気の中で、滞りなく進行しました。特に、ビデオメッセージは、各学級・部活動・生徒会、それぞれに趣向を凝らしており、盛り上がりました。その他、卒業式で身に付けるコサージュの贈呈など、この1カ月間、1・2年生が計画的に取り組んできた『3年生への感謝の思いを伝えるプロジェクト』が見事に成功して良かったですね。リハーサル・準備等もありがとうございました。



3年生の1年時からの写真のスライドショーを観て、改めて、3年生の成長を実感しました。体育大会や生徒会活動、部活動など様々な場面で、一生懸命に頑張り、リーダーシップを発揮してくれたことに、心から感謝します。

## ◆避難訓練 ～地震対応～

2月16日(金)、学年末考査終了後に、地震対応の避難訓練を実施しました。緊急地震速報訓練用が放送で流れると同時に、机の下に身をかかめ、その後、放送の指示で、上靴のまま、グラウンドに避難しました。放送から全校生徒の点呼が終わるまで、落ち着いて、整然と避難できました。講評の冒頭に、能登半島地震でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、全員で黙とうをしました。また、被災地の1日も早い復興を願いました。そして、家族や地域においても避難場所を確認するとことと、1月17日に配付された長期保存食品等も想起しながら、防災用品を備えること等について、改めて、一人一人が主体的に考える機会としました。



<1年理科「地震の災害」学習の関連掲示>

## ◆プラネタリウム学習 ～中学生用プログラムを鑑賞しました～

2月22日(木)、1・2年生が、スペースLABOに徒歩で移動し、プラネタリウムの中学生用プログラムを鑑賞しました。星空を眺めるとともに、プラネタリウムの機能を駆使しての、太陽高度の季節変化や惑星についての解説も聞き、改めて、天文学習に興味をもったり、関心を深めたりしていました。

◇祝◇ 【北九州市長賞】  
「世界遺産のある街 北九州市・中間市」  
スケッチコンテスト

2年 さん

旧本事務所を描いた作品は、官営八幡製鉄所旧本事務所眺望スペースにおいて、常設展示されています。